

- 問1 焼き物まつりや工芸品フェアのようなイベントを開くことで、伝統産業にはどのような良い効果が期待できますか。
- 問2 焼き物を作る時、粘土をこねて形を作ったあと、かまで焼く前に必ずしなければならない大切なことは何でしょう。
- 問3 地域の人々が、歴史ある建物や町並みをいかして「まちづくり」をする一番の目的は何ですか。
- 問4 伝統的な産業で、師匠から技を教わり、一人前の職人になるための長い訓練の期間のことを何といいますか。
- 問5 職人が長い時間をかけて修行をする一番の目的は何ですか。
- 問6 その土地に古くから伝わる技術を使い、主に手作業で作られる産業を何といいますか。
- 問7 美しい姿で有名な姫路城を、ずっと後の時代まで残すために、1878年に国へ「このお城を守るべきだ」と意見を出した人物はだれでしょう。
- 問8 昔の村の開発の様子を調べるとき、なぜ「聞き取り」や「古い道具」など、いろいろな方法を組み合わせる必要があるのでしょうか。
- 問9 姫路城が昔のままの姿で、日本で最初の世界遺産として残されているのはなぜだと考えられますか。
- 問10 その土地にとって歴史的に価値があり、大切に守られている古い建物や町並みのことを何といいますか。
- 問11 博物館で見学した内容をしっかりと理解するために、展示物を見ながら行くと良いことは何ですか。
- 問12 歴史ある建物を、長い間そのままの姿で残すために欠かせない活動を何といいますか。
- 問13 地域の歴史を調べるために、現地へ行く前に行う大切な準備は何ですか。
- 問14 伝統産業が、現代の工場での大量生産と大きくちがう点は何ですか。
- 問15 歴史的な資料や展示物を見学するために、地域にあるどのような場所へ行くのが効果的ですか。
- 問16 現地調査を行うときに、必ず気をつけなければならないことは何ですか。
- 問17 博物館へ見学に行くとき、最も大切なことは何ですか。
- 問18 世界的に見て、とても価値が高いと認められて登録されるものを何といいますか。

答え合わせ・解説 No.2

問1	答え 観光客を呼び込み、地域の産業の魅力をアピールできる	イベントを開催して多くの観光客を招くことは、その土地の伝統産業に直接ふれてもらう良いチャンスになります。実際に製品を見たり作ったりする体験を通じてファンが増えることで、伝統産業を守る力が高まります。
問2	答え しっかり乾燥（かんそう）させる	形を作った直後の粘土は水分を多く含んでいるため、そのままかまに入れて焼くと、水分が急に熱せられて膨張し、割れたり破裂したりしてしまいます。そのため、かまで焼く前に、風通しの良い場所などでしっかりと乾燥させることがとても大切です。
問3	答え 地域の歴史や魅力を多くの人に伝えるため	歴史的な建物や町並みをいかしたまちづくりは、その土地が持つ独自のよさを多くの人に知ってもらうために行われます。地域の人が昔の衣装を着たり、建物の説明をしたりすることで、訪れる人々にその土地の歴史や魅力をより深く感じてもらうことができます。
問4	答え 修行	職人として必要な技術を身につけるためには、材料の扱い方や道具の使い方などを長い時間をかけて学び続ける必要があります。この、技を習得して次の世代へつないでいくための大切な期間を「修行」と呼びます。
問5	答え 確かな技術を身につけて継承するため	修行は単にお金を稼ぐための労働ではなく、師匠から高度な技を学び、自分自身のものにするためのプロセスです。その土地に伝わる大切な技術を次世代へしっかりと伝えていくことが、修行の大きな目的です。
問6	答え 伝統産業	伝統産業は、地域の歴史や風土の中で、職人の手作業による技術と、その土地の原料を活かして守られてきた産業のことです。機械で大量に作る工業とは違い、一つひとつ丁寧に作られる点に大きな特徴があります。
問7	答え 中村重遠	中村重遠は、荒れ果てかけていた姫路城を大切に保存しようと立ち上がり、国に働きかけました。この行動がきっかけとなり、姫路城は長い年月を経てもその美しい姿を保つことができ、後の世界遺産登録へとつながっていきました。
問8	答え 調べ方を変えることで、昔の人の暮らしをより深く、正確に知るため	写真や現在の地図などの一部の情報だけでは、開発が進められた本当の理由や、当時の人々の苦労や思いまでは分かりません。多角的に資料を集めることで、当時の社会がどのような様子だったのか、なぜ開発が必要だったのかという背景を、広い視野で深く理解できるようになります。
問9	答え 住民や行政が協力して長い間修理や保存してきたから	姫路城は、中村重遠による保存の呼びかけや、その後の「昭和の大修理」など、多くの人々が協力して何度も修理を重ねてきました。このような人々の努力があったからこそ、歴史的な価値が守られ、世界遺産として認められることになりました。
問10	答え 文化財	地域に残る古い建物や町並みなど、歴史的に価値があって、みんなで大切に守っていくべきものを「文化財」といいます。これらは、その土地の歴史を知るための大切な宝物です。
問11	答え 展示物について学芸員に質問したり、メモを取ったりする	展示資料を見るだけでなく、気がついたことをメモしたり、スケッチを描いたりすると理解が深まります。さらに、わからないことを専門家である学芸員に質問することは、より深く歴史や資料について知るための非常に効果的な方法です。
問12	答え 修理	建物は時間がたつにつれて古くなり、傷んでしまうことがあります。そのため、専門的な技術を使って手入れを行い、良い状態を保つ活動を「修理」といいます。掃除をしてきれいに保つこととは違い、建物の形や仕組みを長持ちさせるための大切な作業です。
問13	答え 見学場所や歩くルートを決めて計画を立てる	現地調査をスムーズかつ安全に行うためには、事前に地図を見てどこを回り、どのような順番で歩くかという計画を立てることが欠かせません。計画がしっかりしていないと、効率的に情報を集めることが難しくなります。
問14	答え 職人が手作業で丁寧に作ること	伝統産業の大きな特徴は、長い間受け継がれてきた技術を活かし、職人が手作業で物作りを行うことです。機械で同じものをたくさん作る工業とは異なり、地域でとれる原料を使い、その土地ならではの文化や個性を大切にしています。
問15	答え 資料館や博物館	資料館や博物館には、その地域で昔使われていた道具や、歴史的な出来事に関する品物が大切に保管されています。本物を実際に見たり、専門家から詳しい話を聞いたりすることができるため、歴史を学ぶのに最適な場所です。
問16	答え 事故などが起きないように安全に注意すること	調査において最も大切なことは、自分自身やグループのメンバーが事故に遭わず、安全に行動することです。どんなに熱心な調査であっても、危険な場所に入ったり無理な行動をしたりしてはいけません。
問17	答え 事前に調べたい内容を決めておくこと	博物館での学びを深めるためには、ただ展示物を眺めるだけでなく、あらかじめ自分が何を知りたいのかという目的をはっきりさせておくことが重要です。目的があることで、案内板を確認したり、必要な情報を効率よく集めたりすることができます。
問18	答え 世界遺産	文化財の中でも、特に世界中で価値が認められたものを「世界遺産」と呼びます。世界遺産に選ばれると、世界中の人々がその価値を知り、より大切に保存しようとする動きが高まります。